



HOKKAIDO UNIVERSITY

| | |
|------------------|---|
| Title | 昭和四十六年度行事報告 |
| Citation | 基督教学, 7, 37-37 |
| Issue Date | 1972-10-30 |
| Doc URL | https://hdl.handle.net/2115/46283 |
| Type | other |
| File Information | 7_37.pdf |



エスという存在を三位一体と救済史との関連において新しく位置づけようとしているが、パンネンベルグのキリスト論 (Wolfhart Pannenberg, *Gründzüge der Christologie*, Gütersloh, 1964) から多くのヒントを得ているように思われる。

(荒木 関 巧)

昭和四十六年度行事報告

○第十回大会 七月十二日 於・北星学園大学

理事 会

総 会

昭和四十五年度行事、会計、会計監査報告

議 題

- 一、公開講演会の件
- 二、次期大会の件
- 三、「基督教学」発行に関する件

総会決定事項

- 一、公開講演会は日本基督教学会第十九回大会(九月九・十日 於・北大)の直後、来道した会員の中から二名に依頼し、北星短期大学において行なう。

二、次期大会は北海道大学において行なう。期日は七月十日とする。

三、「基督教学」第七号の編集委員は次の通りとする。

浅井正三、荒木関巧、宇野光雄、加藤邦雄、白井暢明、滝沢武人、土屋博、山崎保興、渡部光男

研究発表会

一、ハトマスの詩篇Vについて 北大大学院 滝沢武人

二、キエルケゴールに於ける 第二倫理学の問題 酪農学園大 渡部光男

三、賀川豊彦に於ける終末思想 北星学園大 加藤邦雄

四、エレミア書第二章の Covenant-Kib の様式史研究 酪農学園大 菅沼英二

○公開講演会

都合により中止となる。

新 入 会 員

井上 昌保 酪農学園大

木下 順治 日本基督教会旭川教会

秋 田 稔 北星学園大

菅沼 英二 酪農学園大

執 筆 者 紹 介

菅沼 英二 酪農学園大学助教授

滝沢 武人 北海道大学大学院

荒木 関 巧 カトリック司祭